

〈別科〉

科目名	科目区分	開講年次	必・選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
ニュース・映像で学ぶ日本語 I	日本語	1	必修	前期	1	尾崎 和香子	単独
英語科目名	Japanese in WEB NEWS		レベル	入門～初級			

〈授業概要〉

NHK が提供するウェブサイト「NEWS WEB EASY やさしい日本語で書いたニュース」等の、時事ニュースを、視聴、閲覧することを通じ、現代日本を知るとともに、日本語能力を高める。

〈到達目標〉

現代日本についての知識を得る。初級レベルの日本語力が身につく。

〈ディプロマポリシー〉

別科日本語研修課程では、大学で学ぶための基礎となる日本語と日本文化を学び、自律的学習能力、文化的寛容性、自ら思考する力を持つことによって、それらを基盤として国際社会の平和と文化の発展に貢献できる能力を持つ人材の養成を主たる目的としています。この考えに基づき、以下のような人材が所定の単位を取得した場合に、修了を認めています。

1. 大学で学ぶための基礎となる日本語力と自律的学習能力を持つ人材
2. 大学で学ぶための基礎となる日本文化に対する理解と、文化的寛容性を持つ人材
3. 大学で学ぶための基礎となる日本語コミュニケーション能力を持ち、他と協力して問題発見・問題解決に努める人材
4. 常に、社会に関心をもち、経験に根ざし自ら思考する人材
5. 上記の能力を発揮し、国際社会の平和と文化の発展に貢献しようとする情熱と意志を持つ人材

〈学生へのフィードバック〉

授業中のパフォーマンスや提出された課題について、主に、授業中に個別にフィードバックする。

〈授業/ALの進め方〉

個人ワーク型：授業中のパフォーマンスや提出課題の指導等を通し、学生(個人)の能動的な学修を促す。

グループワーク型：ピアワークやグループワーク、学生間の相互評価もおこなう。

〈利用する ICT 機器〉

適宜、書画カメラ、パソコン、プロジェクタ等を使用する。

〈成績評価〉

【評価方法】

小テスト (60%)、提出課題 (20%)、授業への積極的参加 (20%)

【評価基準】

提出課題は、量(数)と内容(質)の両面から評価する。

内容(質)は、初回提出時の達成度だけでなく、教員指導後の自己訂正の成果も含め評価する。

〈教科書〉

ウェブサイト「NEWS WEB EASY やさしい日本語で書いたニュース」(NHK)

〈参考書〉

授業中に適宜、指示する。

〈受講学生へ〉

シラバスや授業内の指示に従い、毎回十分な予習、復習をおこなうこと。

出席回数が基準に達しない学生は、成績評価の対象としない。

〈別科〉

科目名	科目区分	開講年次	必・選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
ニュース・映像で学ぶ日本語Ⅱ	日本語	1	必修	後期	1	尾崎和香子	単独
英語科目名	Japanese in WEB NEWS		レベル	初級～中級			

〈授業概要〉

「ニュース・映像で学ぶ日本語Ⅰ」に引き続き、NHKが提供するウェブサイト「NEWS WEB EASY やさしい日本語で書いたニュース」等の、時事ニュースを、視聴、閲覧することを通じ、現代日本を知るとともに、日本語能力を高める。

〈到達目標〉

現代日本についての知識を得る。中級レベルの日本語力が身につく。

〈ディプロマポリシー〉

別科日本語研修課程では、大学で学ぶための基礎となる日本語と日本文化を学び、自律的学習能力、文化的寛容性、自ら思考する力を持つことによって、それらを基盤として国際社会の平和と文化の発展に貢献できる能力を持つ人材の養成を主たる目的としています。この考えに基づき、以下のような人材が所定の単位を取得した場合に、修了を認めています。

1. 大学で学ぶための基礎となる日本語力と自律的学習能力を持つ人材
2. 大学で学ぶための基礎となる日本文化に対する理解と、文化的寛容性を持つ人材
3. 大学で学ぶための基礎となる日本語コミュニケーション能力を持ち、他と協力して問題発見・問題解決に努める人材
4. 常に、社会に関心をもち、経験に根ざし自ら思考する人材
5. 上記の能力を発揮し、国際社会の平和と文化の発展に貢献しようとする情熱と意志を持つ人材

〈学生へのフィードバック〉

授業中のパフォーマンスや提出された課題について、主に、授業中に個別にフィードバックする。

〈授業/ALの進め方〉

個人ワーク型：授業中のパフォーマンスや提出課題の指導等を通し、学生(個人)の能動的な学修を促す。
グループワーク型：ピアワークやグループワーク、学生間の相互評価もおこなう。

〈利用するICT機器〉

適宜、書画カメラ、パソコン、プロジェクタ等を使用する。

〈成績評価〉

【評価方法】

小テスト (60%)、提出課題 (20%)、授業への積極的参加 (20%)

【評価基準】

提出課題は、量(数)と内容(質)の両面から評価する。

内容(質)は、初回提出時の達成度だけでなく、教員指導後の自己訂正の成果も含め評価する。

〈教科書〉

ウェブサイト「NEWS WEB EASY やさしい日本語で書いたニュース」(NHK)

〈参考書〉

授業中に適宜、指示する。

〈受講学生へ〉

シラバスや授業内の指示に従い、毎回十分な予習、復習をおこなうこと。

出席回数が基準に達しない学生は、成績評価の対象としない。

